

# さまざまな犯罪被害

## 日本で起きている犯罪の件数

日本では、どんな犯罪がどれくらい起きているのでしょうか。令和元年に警察に届けられた犯罪のうち、窃盗、交通事故、物を壊すこと、殺人・暴力など、性に関する犯罪、放火の件数は次のとおりです。このほかにも、脅迫や恐喝などの犯罪があり、それらを合計したすべての犯罪の発生件数は、1年間に約1,117,700件にもなります。それだけ多くの方が「被害者」になっているのです。

窃盗	約532,600件
交通事故 <small>(自動車運転過失致死傷等と危険運転致死傷)</small>	約369,200件
ものを壊すこと <small>(器物損壊)</small>	約71,700件
殺人・暴力など <small>(殺人、強盗、傷害、暴行)</small>	約53,900件
性に関する犯罪 <small>(強制性交等、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物頒布等)</small>	約9,800件
放火 <small>(放火、失火)</small>	約1,100件



法務総合研究所「令和2年版 犯罪白書」より

交通事故にあった人や、自分のお金やものを盗まれた人も、犯罪の被害者です。

ほかにも放火や詐欺など  
さまざまな犯罪があり、それらの被害者は皆、  
事件により大変なショックを受けています。

